

テーマ：吃音のある人への社会的支援

吃音のある人に対する不当な差別的取り扱いの防止や合理的配慮提供の徹底などの、吃音のある人の人権を守るための社会的支援は、吃音のある人の支援を考える上で欠かせません。今年度のワークショップでは、当事者の立場から吃音のある人への社会的支援に取り組む全国言友会連絡協議会の社会的支援推進委員会の皆様に、社会的支援の意義や内容、課題について話題提供いただき、ご参加の皆様と私たち一人ひとりができる社会的支援について考えたいと思います。

実施方法

オンライン

- (1) ビデオ会議システム (Zoom) 2025年12月14日 (日) 10:00～12:00
- (2) オンデマンド配信 2025年12月22日 (月)～2026年1月18日 (日)

プログラム (司会 金沢大学 小林宏明)

社会的支援推進委員会について (全国言友会連絡協議会理事長 斉藤祐祐)

2022年7月、全国言友会連絡協議会に「社会的支援推進委員会」が発足しました。当委員会は「吃音があっても、豊かに生きられる社会を実現する」ことを目指し活動しています。委員は、吃音当事者やその家族だけでなく、言語聴覚士、ことばの教室教員、医師、大学教員などから構成されています。

吃音のある中高生の支援 (中村泰介)

支援が少ない吃音のある中高生年代の方々に対して活動を行なっています。中学校、高校の先生方への中高生年代の吃音の理解、啓発の動画、リーフレットの作成、配布を実施しています。また吃音のある中高生交流会を年に3回オンラインにて、年に1回オフラインで実施しています。

就労問題・企業への理解促進 (NPO法人どもわーく 竹内俊亮)

多くの吃音者は就活や就労時に悩みが最も深刻になります。そこで吃音のある人の就労への理解促進を図るため「就活向けサポートブック」および「企業向けリーフレット」を発行しました。全言連の加盟団体、わかものハローワーク、就労支援機関、大学キャリアセンター等へも配布し啓発を行なっています。

一般市民への啓発 (慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室 富里周太)

一般への啓発部会では吃音を広く知ってもらうために、リーフレットの改訂、電話リレーサービスの紹介、ドラマの監修などを行いました。また他の音声言語障害の当事者団体と「声とことばの交流会」を年に1回開催しています。似た疾患の当事者が互いを知り、協働して啓発活動ができればと考えています。

吃音と手話 (全国言友会連絡協議会理事・名古屋言友会会長 上條祐也)

吃音と手話部会では、手話を通じて吃音者が生きやすい社会の実現を目指し、リーフレット「吃音と手話」の普及活動、言友会全国大会での分科会、日本吃音・流暢性障害学会での講演などを行なっています。今後は吃音者への手話通訳派遣や手話通訳試験に対する合理的配慮の要望などに取り組んでいく予定です。

対象 吃音のある幼児～成人の指導・支援に従事されている言語聴覚士、保育士、教員、スクールカウンセラー、吃音のセルフヘルプグループの方、その他、吃音のある人の指導・支援に興味・関心のある方

* 日本コミュニケーション障害学会の会員以外の方も参加可能です

参加費 無料 (申込は必要です)

参加申し込み

参加申込締切 2025年12月10日 (水)

参加申込は、以下のURLにあるお申し込みフォームからお願いします。

<https://forms.gle/831edLRtdH76giSh9> (右のQRコードからアクセスできます)



お問い合わせ先

日本コミュニケーション障害学会吃音および流暢性障害研究分科会代表

酒井奈緒美 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

sakai-naomi@rehab.go.jp

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立障害者リハビリテーションセンター研究所